

# しゃくなげ

学校の教育目標 志をもち 仲間とともに創りだす生徒



## 志をもち 仲間とともに創りだす生徒

校長 福井敏彦

本日、希望に満ちた18名の新入生を迎え、全校生徒51名でスタートを切りました。保護者の皆様には、お子様のご入学並びにご進級を心よりお祝い申し上げます。

統合2年目となる今年度は、昨年度築いた土台をもとに学校の教育目標「志をもち仲間とともに創りだす生徒 ～自律・協働・挑戦～」の具現を目指します。

### 自律 ～自分事として考えよう～

昨年度、物事を自分事として考える姿が増えてきました。それに伴って、うまくいかないとき人のせいにするのではなく、自分ができるところを考え実践しようとする姿が増えてきたと感じています。

一層、自分事として考え、判断するために、授業で学ぶ物事の見方や考え方を身につけたり、自己理解を深めたりすることを大切にします。

### 協働 ～よさを認め合おう～

今もなお世界のあちこちで争いが起きている現状では「大人でもお互いの人権を尊重できていないじゃないか」と子どもたちに叱られそうです。「お互いを理解しあうこと、人権を尊重しあうことは簡単なことではない」そうわかった上で、それでもお互いの人権を尊重する姿勢をあきらめず、共通の目標達成に向かって対話し続けたいと思います。

はじめの一步として、お互いの違いを認め合うことを大切にします。

### 挑戦 ～まずやってみよう～

「自分には夢がない」と思っている子がいるかもしれません。「自分がワクワクするもの」「心から夢中になれるもの」は、多様で豊かな体験をする中で出会うものです。だから「まずやってみよう」を大切にします。

「21世紀のサッカーで、最もペナルティキックを決めているのは史上最高の選手のひとり、ポルトガルのクリスティアーノ・ロナウド選手という。ではこれを最も外しているのは誰か。これもロナウド選手。バスケットにも似た現象がある。NBA で最も多く得点を挙げているのもシュートを失敗しているのもレーカーズのスター、レブロン・ジェームズ選手。…数多くの失敗にもめげず、そこから学んだ結果成功を手にする。」(26.1.26 中日新聞より)

「失敗は経験値」やってみようと思ったなら、うまくいくまであきらめないことも大切にします。

### 志を共有して粘り強く取り組む

昨年度末、令和8年度生徒会役員の方々と意見交流をする時間をもつことができました。「みんながわかる授業をつくりたい」「明るく元気なあいさつをしたい」…一人一人が力強く願いを語ってくれました。その願いは私たち職員も一緒です。同じ志に向かって、粘り強く取り組む所存です。保護者の皆様、地域の皆様、どうぞご支援のほどよろしくお願いいたします。